

Never too early!

八村塁選手がアメリカプロバスケットボールNBAでドラフト一巡目指名を受けました。NBAでプレーした日本人としては、Bリーグ・宇都宮ブレックスの田臥勇太選手がいます。彼が大切にしている言葉は“Never too late”（今からでも遅くない）だそうです。彼は能代工業高校時代、キャプテンとしてチームを3年連続全国三冠に導きました。三冠とはインターハイ、国体、選抜の三つの全国大会優勝のことです。それを3年連続ですから、高校在学中はすべての大会で全国優勝したわけです。今から22年前に京都で開催されたインターハイでも大人気でした。そして、173cmの身長ながら、日本人で初めてNBAでプレーした選手です。

彼のキャリアは華やかに見えます。しかし、活躍していた日本のチームをやめ、ゼロからスタートしたアメリカでの数年間に及ぶ競技生活は、何度も跳ね返されながらも頂点であるNBAでのプレーに挑戦し続けた期間でした。そんな彼の精神的な支えに“Never too late”があったのでしょう。

将来の夢の実現を目指して、あるいは、将来の夢を探して東宇治高校で高校生活を送っている皆さんに向けて、この言葉を少しアレンジしてみました。

“Never too late! Never too early!”

ちょっと意識して、「チャレンジに遅すぎることはない。そして、チャレンジに早すぎることもない。」若い皆さんには、後半の部分強調したいと思います。

「早すぎることはない」という言葉には、若い皆さんには多くの選択肢があるという意味もあります。そして、人生のどのような時点でも、そのときに選べる将来の選択肢はあります。しかし、人生を歩んでいく中で選択肢はだんだん少なくなっていくます。若い皆さんは広げた扇の要にるように、皆さんの前には多くの可能性があります。そのたくさんの選択肢の中から、自分の将来を見据えた、志のある選択をしてほしいと思います。もちろん、その決断はもっと経験を積んでからでもよいでしょう。一方、もし今、「これだ!」と決断できるなら、それは決して早すぎることはないと思います。

Never too early! 決して早すぎることはない。

(令和元年7月 1学期終業式の式辞から)